



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森地 高文  
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 濱村 和裕 (TEL) 03-3276-2036  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	462,227	0.1	3,567	△1.6	3,915	△5.0	2,934	2.8
2018年3月期第2四半期	461,629	28.9	3,625	94.2	4,121	88.8	2,854	87.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,692百万円(△26.6%) 2018年3月期第2四半期 3,667百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	331.42	—
2018年3月期第2四半期	322.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	288,700	55,322	18.4
2018年3月期	283,672	53,725	17.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 52,983百万円 2018年3月期 50,838百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	45.00	—	65.00	110.00
2019年3月期	—	55.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	945,000	1.7	7,500	△7.6	8,000	△7.2	5,500	0.9	621.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」及び添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	8,860,562株	2018年3月期	8,860,562株
2019年3月期2Q	5,618株	2018年3月期	5,596株
2019年3月期2Q	8,854,959株	2018年3月期2Q	8,854,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)における世界経済は、好調な米国経済に加え、中国及びアセアン諸国においても引き続き成長が見られるなど、緩やかな回復が続きました。わが国経済は、企業収益の改善に伴い、引き続き雇用・所得環境や設備投資に好調な動きが見られるなど、回復基調で推移しましたが、各国の通商政策や国内の自然災害による影響への懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の下、当社グループは海外では韓国で神戸製鋼所とNovelis Korea LTD.が合弁で設立したアルミ板圧延品の製造会社「Ulsan Aluminum Ltd.」につきまして、同社で使用される原料の供給、及び同社で生産された製品の販売事業が開始しました。また、中国における半導体・液晶製造装置用アルミ加工品の需要拡大への対応を目的に、アルミ精密加工会社「神商精密器材(蘇州)有限公司」の第2工場を開設するなど、グローバルビジネスの基盤拡充を図ってまいりました。国内では連結子会社である鉄鋼製品の卸売・加工会社「森本興産株式会社」を株式の追加取得により完全子会社化するなど、販売体制の強化を推し進めてまいりました。このような活動を通じて、メーカー商社の特色を活かしたビジネスを積極的に推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,622億27百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益は35億67百万円(同1.6%減)、経常利益は39億15百万円(同5.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億34百万円(同2.8%増)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

## ①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向け・輸出向けともに、取扱量が減少しましたが、価格は市況の影響により上昇しました。線材製品は国内向けの取扱量が横ばいとなり、自動車向け価格の下振れの影響により価格は下落しました。輸出向けは取扱量が横ばいとなり、価格は上昇しました。

この結果、売上高は1,733億28百万円(前年同四半期比3.9%増)となり、セグメント利益は23億54百万円(同19.7%増)となりました。

## ②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格は堅調に推移しましたが、粗鋼生産量の減少等により取扱量が減少しました。冷鉄源、合金鉄は取扱量は横ばいでしたが、価格は上昇しました。チタン原料は取扱量が横ばいで推移しました。

この結果、売上高は1,433億73百万円(前年同四半期比8.0%減)となり、セグメント利益は5億58百万円(同0.1%減)となりました。

## ③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管、自動車向け端子材用銅板条の取扱量が堅調に推移しましたが、半導体向け銅板条の取扱量は減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ板条及び押出材の取扱量が増加しましたが、鉄道車両向けアルミ押出材の取扱量が減少しました。非鉄原料はアルミ地金・アルミ再生塊の取扱量が増加し、銅屑・アルミ屑の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,234億6百万円(前年同四半期比4.7%増)となりましたが、セグメント利益は9億14百万円(同21.7%減)となりました。

## ④機械・情報セグメント

機械製品は化学プロセス機器等の取扱いが減少しましたが、大型圧縮機、ゴム・タイヤ機械、熱処理炉、建設機械部品等の取扱いは増加しました。情報関連商品はハードディスク関連装置等の取扱いは増加しましたが、液晶電子材料等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は320億20百万円(前年同四半期比0.9%増)となりましたが、セグメント損失は2百万円(前年同四半期は1億57百万円の利益)となりました。

## ⑤溶材セグメント

溶接材料は造船・化工機向けの取扱量が減少し、建築鉄骨及び建設機械向けの取扱量は堅調に推移しました。輸出関連は中国及び韓国向けを中心に増加しました。また、溶接関連機器は汎用溶接機の取扱いが増加し、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いは堅調に推移しましたが、海外向け設備案件の取扱いが減少しました。生産材料は溶剤原料の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は212億78百万円(前年同四半期比2.2%増)となり、セグメント利益は81百万円(同43.0%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年7月31日公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,023	14,963
受取手形及び売掛金	165,824	161,466
電子記録債権	8,102	6,798
商品及び製品	32,323	37,105
仕掛品	510	416
原材料及び貯蔵品	1,032	1,570
前払金	8,816	17,116
その他	3,776	4,181
貸倒引当金	△105	△97
流動資産合計	239,304	243,521
固定資産		
有形固定資産	8,943	8,487
無形固定資産	659	682
投資その他の資産		
投資有価証券	31,576	32,414
その他	3,618	3,992
貸倒引当金	△429	△397
投資その他の資産合計	34,764	36,009
固定資産合計	44,367	45,179
資産合計	283,672	288,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,311	122,725
電子記録債務	14,415	14,806
短期借入金	39,921	42,438
未払法人税等	1,393	953
賞与引当金	1,048	1,078
その他	19,231	27,693
流動負債合計	205,321	209,695
固定負債		
長期借入金	19,390	18,365
役員退職慰労引当金	130	85
退職給付に係る負債	887	912
債務保証損失引当金	77	77
その他	4,138	4,241
固定負債合計	24,624	23,682
負債合計	229,946	233,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	38,370	40,729
自己株式	△17	△17
株主資本合計	46,648	49,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,338	3,874
繰延ヘッジ損益	117	72
為替換算調整勘定	734	29
その他の包括利益累計額合計	4,190	3,975
非支配株主持分	2,886	2,339
純資産合計	53,725	55,322
負債純資産合計	283,672	288,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	461,629	462,227
売上原価	446,730	447,197
売上総利益	14,899	15,030
販売費及び一般管理費	11,273	11,462
営業利益	3,625	3,567
営業外収益		
受取利息	45	55
受取配当金	503	590
為替差益	114	211
持分法による投資利益	428	397
雑収入	193	178
営業外収益合計	1,286	1,435
営業外費用		
支払利息	366	467
売掛債権譲渡損	210	188
デリバティブ評価損	67	285
雑損失	145	145
営業外費用合計	790	1,087
経常利益	4,121	3,915
特別利益		
負ののれん発生益	90	152
特別利益合計	90	152
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
会員権評価損	3	2
特別損失合計	56	2
税金等調整前四半期純利益	4,155	4,065
法人税、住民税及び事業税	1,393	1,135
法人税等調整額	△151	△19
法人税等合計	1,242	1,115
四半期純利益	2,913	2,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,854	2,934

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,913	2,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,171	537
繰延ヘッジ損益	△7	△45
為替換算調整勘定	△419	△641
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△107
その他の包括利益合計	753	△257
四半期包括利益	3,667	2,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,656	2,720
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	166,809	155,809	117,898	31,728	20,804	493,049	187	△31,607	461,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4	—	9	14	—	△14	—
計	166,809	155,809	117,902	31,728	20,814	493,064	187	△31,621	461,629
セグメント利益又は 損失(△)	1,967	559	1,166	157	57	3,907	△16	230	4,121

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	173,328	143,373	123,404	32,020	21,271	493,398	191	△31,362	462,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	7	9	—	△9	—
計	173,328	143,373	123,406	32,020	21,278	493,408	191	△31,372	462,227
セグメント利益又は 損失(△)	2,354	558	914	△2	81	3,906	△10	20	3,915

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。